

各 位

上場会社名 朝日工業株式会社
 代表者 代表取締役社長 赤松 清茂
 (コード番号) 5456
 問合せ先責任者 常務取締役管理本部長 中村 紀之
 (TEL) 03-3987-2161

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年6月9日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	31,500	50	150	80	1,138.04
今回発表予想(B)	32,500	170	250	80	1,140.62
増減額(B-A)	1,000	120	100	0	——
増減率(%)	3.2	240.0	66.7	0.0	——
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	23,760	1,504	1,411	753	10,470.66

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	68,400	1,900	2,000	1,100	15,648.12
今回発表予想(B)	69,400	2,020	2,100	1,140	16,269.68
増減額(B-A)	1,000	120	100	40	——
増減率(%)	1.5	6.3	5.0	3.6	——
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	51,777	2,836	2,650	1,525	21,288.49

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	30,100	20	150	80	1,138.04
今回発表予想(B)	31,100	190	300	110	1,568.36
増減額(B-A)	1,000	170	150	30	——
増減率(%)	3.3	850.0	100.0	37.5	——
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	22,487	1,503	1,464	824	11,453.50

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	65,400	1,700	1,800	1,000	14,225.56
今回発表予想(B)	66,400	1,870	1,950	1,070	15,270.66
増減額(B-A)	1,000	170	150	70	——
増減率(%)	1.5	10.0	8.3	7.0	——
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	48,881	2,661	2,570	1,454	20,300.79

修正の理由

当第2四半期累計期間の売上高につきましては、鉄鋼建設資材事業において鉄スクラップ価格が4～6月で高騰したことに対応し製品販売価格の改善を進めました結果、また、農業資材事業においては、7月からの肥料製品価格値上げに際して前倒し需要が発生し販売数量が増加したことから、当初見込みに対して増収の見込みであります。営業利益、経常利益につきましては、鉄鋼建設資材事業におい

て、鉄スクラップ価格が7月以降で急落したことから当初見込価格を下回る状況になっており増益が見込まれます。農業資材事業においても、販売数量が増加したことにより増益の見込みであります。四半期純利益につきましては、当初、下期で完工予定の設備投資が上期に完工となり、その結果、既存設備の除却損が上期に発生した影響を含んだ見込み額となっております。

通期業績予想の売上高、営業利益、経常利益、当期純利益につきましては、景気後退による鉄鋼製品の需要変化や鉄スクラップ価格動向が不透明であることから、前回の通期業績予想に当第2四半期累計期間の修正数値を加味して修正しております。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上